

熟議 2015 in 兵庫大学

加古川地域のちから ～安心・安全を創る～

11月22日（日）開催

- ▼ 目 的 世代を超えて、地域課題の解決にむけて考える
- ▼ テ ー マ 加古川地域のちから ～安心・安全を創る～
- ▼ 日 時 平成27年11月22日（日） 10:00～16:00
- ▼ 会 場 兵庫大学（5号館 食堂）
- ▼ 参加対象 高校生、大学生、社会人など地域づくりに関心のある方 80名
- ▼ 参加費 無料（当日は飲み物、昼食を用意します）
- ▼ 申 込 兵庫大学「熟議」専用ホームページから
- ▼ 申込期間 9月24日（木）～10月18日（日）

【主 催】 兵庫大学・兵庫大学短期大学部

【共 催】 加古川市

【後 援】 兵庫県、兵庫県教育委員会、高砂市、稲美町、播磨町、
加古川市教育委員会、高砂市教育委員会、稲美町教育委員会、
播磨町教育委員会、（公財）兵庫県生きがい創造協会、
神戸新聞社、BAN-BANネットワークス株式会社





熟議 2015 in 兵庫大学

加古川地域のちから ～安心・安全を創る～

※本取り組みでの「加古川地域」とは加古川市、高砂市、稲美町、播磨町をいいます。

【熟議2015 in兵庫大学について】

テーマ:加古川地域のちから～安心・安全を創る～

これまでの熟議は、加古川地域の課題を発掘し、その課題への対応策を考え、自らが解決に向けて実行することにより、課題解決を市民自らが考え、担う機会とすることを目的に進めてきました。

「熟議 2013in 兵庫大学」では、加古川地域の現状と課題について明らかにする機会でした。

2年目の熟議「2014 in 兵庫大学」では前年度の「熟議」を通して共通に認識した加古川地域の課題から「加古川地域の安心・安全」をテーマとして抽出し、具体的な解決策やその実施方法について議論しました。

そして、地域を考える熟議について最終の年度となる「熟議 2015 in 兵庫大学」においては今後の社会のあり方を考える上で、制度だけではなくその意思決定も含めて市民の力を活かすことが重要となることから、「加古川地域のちから」をテーマに、自分たちが暮らしたい地域を創っていくために世代を超えてアイデアを出し合います。

【11月22日 当日プログラム】

時間	内容
9:30 ~ 10:00	受付
10:00 ~ 10:20	開会・テーマ等の説明
10:25 ~ 10:40	アイスブレイキング
10:40 ~ 12:00	第一段階議論（ワークショップ）
12:00 ~ 12:40	昼食
12:40 ~ 14:00	第二段階議論（ワークショップ）
14:00 ~ 14:30	まとめ・休憩
14:30 ~ 15:40	議論の結果の共有と講評
15:40 ~ 16:00	閉会

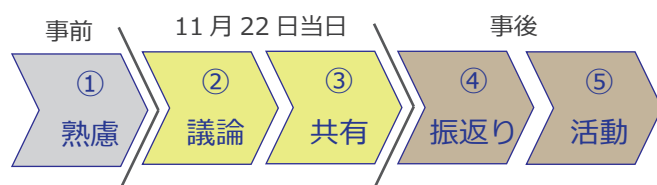
※飲み物、弁当を用意しております。

※JR 東加古川駅北口からスクールバスを運行しています

※駐車場、駐輪場をご利用いただけます。

【当日までの流れ】

兵庫大学「熟議」は以下の5つの段階を踏んで進めます。



①熟慮の段階（事前学習）

熟議専用ホームページを通じて参加者は課題に取り組み、各自が熟慮します。寄せられた疑問や意見をHP上に公開、共有し充実を図ります。

<課題例>

- ・インフラが老朽化する中での安全な利用のためにはどうするのか
- ・自然災害、大規模災害にどのように備えるのか
- ・超高齢社会において健康に安心して生活を継続する仕組みはあるのか

②議論の段階（11月22日当日）

- 第一段階議論 90分（ワークショップ）

人口減少時代における加古川地域を想定したうえで、自分たちが暮らしたい安心・安全な社会について意見を出し、その社会を実現するための課題を話し合いの中から抽出します。

- 第二段階議論 90分（ワークショップ）

前半で出た課題の解決に向けて行政に頼るだけでなく、この地域にある資源や事情を踏まえ、どのようなアイデアや努力を付加すれば自分たちが安心して生活しやすくなるのか、を提案してください。

③共有の段階

メインファシリテーターが各グループから出た議論の結果を紹介し、参加者全員で共有します。

④振り返りの段階（仲間づくりと自分の成長を振り返る）

参加者は熟議終了後アンケートに回答。兵庫大学はアンケート結果を含む活動報告をホームページに掲載します。

⑤活動の段階（個々の活動）

それぞれの立場で、それぞれの考え方をもち、共に活動することが期待されます。

兵庫大学はその後押しとなるような活動を継続します。